

# 研究業績リスト

(2010年10月1日～2011年9月30日)

## 人間基礎科学講座

### (1) 著書

- 1) 薄井 明編：『社会福祉士国家試験 [完全対策] 必修事項と範例問題 I (人・社会・生活と福祉編) 2012』, 株式会社みらい, 93-138, 2011, 7.
- 2) 小澤次郎：「金子みすゞの詩にみる構造—二項対立を超えた荘厳世界—」, 詩と詩論研究会編『金子みすゞ み仏の祈り』, 勉誠出版, 11-27, 2011, 04.
- 3) 小澤次郎：「『High and dry (はつ恋)』—《瞬間》と「時間」と《作品》」, 現代女性作家読本研究會編『現代女性作家読本⑬ よしもとばなな』, 鼎書房, 108-113, 2011, 06.
- 4) 小澤次郎：「鈴木大拙における《妙好人》とは?」, 志村有弘編『わが心の妙好人 市井に生きた善人たち』, 勉誠出版, 279-286, 2011, 07.
- 5) 櫻井 潤：「ブルックリンの芸術活動と地域主導の医療保障：公民協働の医療保障システムと芸術都市ニューヨークの芸術政策」, 渋谷博史・片山泰輔編『アメリカの芸術文化政策と公共性：民間主導と分権システム』, 昭和堂, 160-199, 2011, 6.

### (2) 論文

- 1) 小澤次郎：「森鷗外『高瀬舟』再考」, 北海道医療大学人間基礎科学論集36, B1-8, 2010, 11.
- 2) 小澤次郎：「読むことと考えること—『クルアーン』『碧巖録』『老子』—」, 北海道医療大学看護福祉学部紀要17, 1-9, 2010, 12.
- 3) 櫻井 潤：「グローバル化と大阪府阪南市の地域経済」, 『北海道医療大学看護福祉学部紀要』(北海道医療大学), 第17号, 11-19, 2010, 12.
- 4) 櫻井 潤：「大阪府阪南市の地域経済と地域再生：公民協働のまちづくりと地域経済の活性化の条件」, 『北海道医療大学看護福祉学部紀要』(北海道医療大学), 第17号, 21-30, 2010, 12.

### (3) その他論文

- 1) 薄井 明：「発話番交替システムにおける『語り』の組織化と展開」, 『北海道医療大学看護福祉学部紀要』, 第17号, 61-70, 2010, 12.
- 2) 櫻井 潤：「(書評)『アメリカの医療保障：グローバル化と企業保障のゆくえ』(長谷川千春著)」, 東京大

学社会科学研究所編『社会科学研究』, 第62巻第1号, 227-233, 2011, 2.

- 3) 櫻井 潤・渋谷博史・埴 武郎：(翻訳)「通勤支援とリバース通勤：分権化問題とサービス提供システム (S.M.エドナー著)」, 『國學院経済学』(國學院大學) 特集号「福祉国家と政府間関係の日米比較」, 第60巻第1・2合併号, 27-67, 2011, 5.
- 4) Tarnoff, Howard N. : Essay Monogram Series, Comparative Issues of North America and Japan, Hoppoken Quarterly Journal, Autumn Issue, 152, 55-56, 2010, 10.
- 5) Tarnoff, Howard N. : Essay Monogram Series, Comparative Issues of North America and Japan, Hoppoken Quarterly Journal, Winter Issue, 153, 60-61, 2011, 1.
- 6) Tarnoff, Howard N. : Essay Monogram Series, Comparative Issues of North America and Japan, Hoppoken Quarterly Journal, Spring Issue, 154, 66-67, 2011, 5.
- 7) Tarnoff, Howard N. : Essay Monogram Series, Comparative Issues of North America and Japan, Hoppoken Quarterly Journal, Summer Issue, 155, 52-53, 2011, 9.

### (4) 学会発表

- 1) 櫻井 潤：「アメリカの公的医療保険と地域保険市場：処方薬給付の創設と民間プランの推進」, 日本財政学会第67回大会, 2010, 10. 23.

### (5) 講演

- 1) 薄井 明：北海道社会福祉士会受験対策講座「社会理論と社会システム」, 北海道社会福祉士会, 2011, 9.
- 2) 森田 勲：「北国の生活と体力」, 石狩市筋力アップ教室基調講演, 石狩市, 2010, 11. 4.
- 3) 森田 勲：「ボランティア除雪」, 黒松内町社会福祉協議会講演会, 2010, 11. 13.
- 4) 森田 勲：石狩市筋力アップ教室 (1) ~ (12), 石狩市, 2010, 11~2011, 2.
- 5) 森田 勲：石狩市健康体力づくり講演会, 2010, 12. 6.
- 6) 森田 勲：釧路市認知機能と身体活動に関する研修会, 2011, 2. 11.
- 7) 森田 勲：当別町健康教室「体力づくりの科学 1.2」, 2011, 2. 12; 2. 19.
- 8) 森田 勲：健康運動指導士研修会「筋力トレーニング

ゲ1.2]「肥満解消プログラムの実際」, 2011, 8.  
27; 9. 10.

#### (6) 社会活動

- 1) 小澤次郎：独立行政法人大学入試センター教科科目第一委員会委員, 「官報」2011, 4, 28.
- 2) 小澤次郎：第30回全日本薬学生剣道大会副大会長, 2011. 8. 21.

## 臨床福祉学科

### <臨床福祉政策学>

教授：椎谷 淳二, 鈴木 幸雄, 石川 秀也,  
志渡 晃一, 志水 幸  
准教授：佐々木明良  
講師：佐藤 園美  
助教：坂野 悦子

### <医療福祉臨床学>

教授：中川 賀嗣, 向谷地生良, 白石 淳  
准教授：長谷川 聡, 近藤 里美, 大友 芳恵  
講師：志水 朱, 今野多美子, 福岡 麻紀  
助教：高橋 由紀, 池森 康裕

#### (1) 著 書

- 1) 福祉小六法編集委員会編（委員：志水 幸ほか）：福祉小六法（2011年版），みらい，2011年4月。
- 2) 保育福祉小六法編集委員会編（委員：志水 幸ほか）：保育福祉小六法（2011年版），みらい，2011年4月。
- 3) 志水 幸監修：2012必修事項と範例問題（人・社会・生活と福祉編），みらい，2011年7月。
- 4) 志水 幸監修：2012必修事項と範例問題（相談援助と地域福祉編），みらい，2011年7月。
- 5) 志水 幸監修：2012必修事項と範例問題（サービスに関する基礎知識編），みらい，2011年7月。
- 6) 向谷地生良：べてるな人々2—人ってこんなにあったかいんだ，一麦出版社，2010。
- 7) 向谷地生良他：べてるの家の恋愛大研究，大月書店，2010, P3—P4。
- 8) 近藤里美：Expanding My World : Improvised Voice work with a Woman with Parkinson's Disease (in Baker, F. & Uhlig, S.(Ed.) Voicework in Music Therapy : Research and Practice) p.269—87. Jessica Kingsley Publishers. London. 2011. 7.
- 9) 近藤里美：心とからだのリラクゼーション（CD），

厚生労働科学研究費補助金，スモンに関する調査研究班編，2011年2月。

- 10) 大槻美佳，中川賀嗣：進行性非流暢性失語の臨床，前頭側頭型認知症の臨床，池田 学編，精神科臨床リュミエール12，中山書店，東京2010。
- 11) 中川賀嗣：器質性精神障害（認知症含む），症状精神病精神科テキスト，金芳堂，Pp117—130，2011。
- 12) 白石 淳：シリーズ福祉に生きる59グロウド神父，大空社，1—178，2011. 3。
- 13) 大友芳恵他：相談援助実習・実習指導，久美出版，2011. 2。

#### (2) 論文

- 1) 志水 幸，山下匡将，早川 明，宮本雅央，小関久恵，嘉村 藍，村山くみ，大月和彦：島嶼地域住民のライフスタイル，生活科学研究第33集，2011年3月，11—23頁。
- 2) 向谷地生良，大濱伸昭他：浦河におけるコミュニティ支援—地域につなげること—精神科デイケアを介した当事者のためのコミュニティ支援，臨床心理学，金剛出版，10（3），443—448，2010。
- 3) Mika Otsuki, Yoshitsugu Nakagawa, Fumiaki Mri, Hirotooshi Tobika, Hideaki Yoshida, Yoshiharu Tatezawa, Toshio Tanigawa, Ikuko Takahashi, Ichiro Yabe, Hide-nao Sasaki, Koichi Wakabayashi : Progressive anterior operculum syndrome due to FTL D-TDP : a clinico-pathological investigation. J Neurol. 257 : 1148—1153, 2010.
- 4) 中川賀嗣：痴呆性疾患の失語・失行・失認症状，老年期認知症研究会誌，15：92—96。
- 5) 田村 至，大槻美佳，中川賀嗣，西澤典子，田代邦雄：病初期の語義失語症例におけるカテゴリー特異的意味障害の経時的検討，高次脳機能研究，30：523—532，2010。
- 6) 中川賀嗣：痴呆性疾患にみられる行為・動作の障害．老年期認知症研究会誌，15：30—34，2010。
- 7) 中川賀嗣：臨床失行症学．高次脳機能研究，30：10—18，2010。
- 8) 中川賀嗣：行為障害の神経心理学—失行を中心として—，脳科学とリハビリテーション，11：1—9，2011。
- 9) 中川賀嗣：失行，精神科臨床評価検査法マニュアル，臨床精神医学，39増刊号：508—515，2010。
- 10) 白石 淳：福祉教育における疑似体験を用いた教育上の課題，地域創成学，Vol. 2 No. 1，1—6，2010. 10。
- 11) 大友芳恵：北海道における高齢者の貧困，貧困研

- 究, vol. 5, pp 4-14, 2010.11.
- 12) 大友芳恵：高齢者の進展と「献体」～経済的要因の側面から～, 北海道医療大学看護福祉学部学会誌, vol. 7, No. 1, pp85-88, 2011. 3.
- (3) その他の論文
- 1) 武田加代子, 志水 幸, 杉山克己, 伊藤優子, 山下匡将：レジデンシャル・ソーシャルワーク専門職性評価尺度の開発（みずほ福祉助成財団助成研究報告書）, 2010年10月.
- 2) 志水 幸：社会福祉学専門教育における教養教育の意義, 北海道医療大学看護福祉学部紀要第17号, 2010年12月, 43-52頁
- 3) 志水 幸：社会福祉教育研究の射程, 日本社会福祉教育学会ニュースレターNo 8, 日本社会福祉教育学会, 7頁.
- 4) 佐々木明員・銭本隆行：デンマークにおける触法障害者の支援に関する調査研究, 厚労科学研究触法及び被疑者となった高齢者・障害者への支援に関する研究, 2010年3月.
- 5) 佐々木明員：発達障害者支援センターにおける触法者・被疑者となった発達障害者への支援の実態調査報告, 厚労科学研究触法及び被疑者となった高齢者・障害者への支援に関する研究田島班小林グループ, 2010年3月.
- 6) 青山勝義・佐々木明員：救護施設を利用する障がい者・高齢者の触法・被疑者の実態及び支援に関する実態調査の結果, 平成21年度厚労科学研究触法及び被疑者となった高齢者・障害者への支援に関する研究田島班小林グループ, 2010年3月.
- 7) 佐々木明員：北海道広域相談支援事業所における触法・被疑者となった発達障害者への支援に関する調査の結果, 平成21年度厚労科学研究, 触法及び被疑者となった高齢者・障害者への支援に関する研究田島班小林グループ, 2010年3月.
- 8) 佐々木明員, 佐藤治人：北海道高等養護学校における非行等の実態と支援に関する調査報告書, 平21年度厚労科学研究, 触法及び被疑者となった高齢者・障害者の支援に関する研究田島班小林グループ, 2010年3月.
- 9) 佐々木明員・佐瀬和夫：地域療育分科会座長記, 北海道乳幼児療育研究会, 乳幼児療育研究2010・第23号, 88-90, 平成22年10月.
- 10) 小林繁市・佐々木明員：全国知的障害者支援事業所における触法知的障害者支援実態調査研究報告書, 平成22年度厚労科学研究, 触法及び被疑者となった高齢者・障害者の支援に関する研究, 2011年5月.
- 11) 佐々木明員, 銭本隆行：デンマークにおける触法知的障害者の保護処分制度に関する調査研究報告書, 平成22年度厚労科学研究, 触法及び被疑者となった高齢者・障害者の支援に関する研究, 2011年5月.
- 12) 向谷地生良他：浦河におけるコミュニティー支援（座談会）, 臨床心理学, 金剛出版, 11（2）, 269-274, 2011.
- 13) 中川賀嗣：高次脳機能障害ってどのように分類されるの, ブレインナーシング, 6：67-68, 2011.
- 14) 中川賀嗣, 大槻美佳：国際アルツハイマー病協会国際会議へ参加して, 老年医学, 49：825-832, 2011.
- 15) 白石 淳：福祉推進授業の取り組み, 福祉文化実践報告集, Vol. 5, 13-17, 2011. 7.
- (4) 学会発表
- 1) 志水 幸：社会福祉専門職養成教育における教養教育の意義—福祉系4年制大学における教育課程を中心に, 日本社会福祉学会第58回秋季大会（特定課題セッション：シンポジスト）, 2010年10月.
- 2) 武田加代子, 山下匡将, 伊藤優子, 杉山克己, 志水 幸, 川廷宗之：レジデンシャル・ソーシャルワーク専門職性評価指標の開発, 日本社会福祉学会第58回秋季大会, 2010年10月.
- 3) 小関久恵, 宮本雅央, 村山くみ, 伊藤優子, 宮嶋 淳, 鈴木敏彦, 杉山克己, 志水 幸, 武田加代子, 川廷宗之：福祉系初年次学生の学習姿勢による学習ニーズの検討, 日本社会福祉学会第58回秋季大会, 2010年10月.
- 4) 宮本雅央, 小関久恵, 村山くみ, 伊藤優子, 宮嶋 淳, 鈴木敏彦, 杉山克己, 志水 幸, 武田加代子, 川廷宗之：社会福祉系学部及び学科における新入生の学習及び生活体験と表象との関連—「社会福祉」から連想するキーワードの分類から, 日本社会福祉学会第58回秋季大会, 2010年10月.
- 5) 小野滋男, 志水 幸：保健医療福祉系大学における教養教育の問題（2）—人文社会系教養の意義を考える, 大学教育学会第33回大会（ラウンドテーブル）, 2011年6月.
- 6) 山下匡将, 伊藤優子, 杉山克己, 志水 幸, 武田加代子：ソーシャルワークの専門職性—介護老人保健施設に勤務するソーシャルワーカーの自己評価, 日本ソーシャルワーク学会第28回大会, 2011年7月.
- 7) Kayoko TAKEDA, Koh SHIMIZU, Katsumi SUGIYAMA, Yuko ITOH, Masanobu YAMASHITA：.Characteristics of Social Work Proficiency at the Institutes for the Elderly, 21<sup>st</sup> ASIA-PACIFIC SOCIAL WORK



CONFERENCE, July 2011.

- 8) 佐々木明員：北海道特別支援学会平成22年度中央大会自主シンポジウム，特別支援教育における非行等への対応の課題，企画責任者・司会者，平成22年7月。
  - 9) 佐々木明員・佐藤治人：北海道高等養護学校における非行の実態と支援の課題，北海道特別支援学会平成22年度中央大会自主シンポジウム発表，平成22年7月。
  - 10) 佐々木明員：発達障害者支援センターにおける触法障害者の支援と体制整備に関する実態と課題，日本発達障害学会第45回研究大会ポスター発表，2010年9月。
  - 11) 佐々木明員：救護施設における触法障害者の実態と支援の課題，日本社会福祉学会第58回研究大会自由研究発表，2010年10月。
  - 12) 佐々木明員：平成22年度北海道乳幼児療育研究会第24回研究大会シンポジウム家庭養育を支える地域連携の新たな実践，企画責任者，2010年11月。
  - 13) 佐々木明員：触法知的障害者の支援をめぐる諸課題について，日本社会福祉学会第59回研究大会自由研究発表，2011年10月。
  - 14) 近藤里美：The Meaning of Music Therapy Re-learning Program : Qualitative Data Analysis 'SCAT'. 13<sup>th</sup> World Congress of Music Therapy, Seoul, Korea. 2011. 7. 7
  - 15) 中川賀嗣：認知症性疾患の行為障害の特徴とそのメカニズム，認知症学会スポンサードシンポジウム，名古屋，2010. 11. 7。
- (5) 講演
- 1) 志水 幸：介護教員講習会（社会福祉学），日本介護福祉士養成施設協会，2010年10月。
  - 2) 志水 幸：社会福祉主事資格認定講習会（社会福祉行政論），北海道社会福祉協議会，2010年11月。
  - 3) 志水 幸：介護教員講習会（介護教育方法），日本介護福祉士養成施設協会，2011年3月。
  - 4) 今野多美子：自己分析から部署のビジョンを見える化する，江別市立病院看護師長研修，2011年1月。
  - 5) 今野多美子：自己分析からスタッフ育成のビジョンを見える化する，江別市立病院副看護師長研修，2011年2月。
  - 6) 佐々木明員：発達障害と少年非行～発達障害の理解と支援の実際～，北海道医療大学生涯学習事業精神保健福祉リフレッシュスクール，企画・講演，2010年1月。
  - 7) 佐々木明員：施設に問われる利用者支援，平成21年度社会福祉法人静内ペテカリ実践研究報告会，2010年2月。
  - 8) 佐々木明員：拓北あいの里のノーマライゼーションを考える会，障害者支援に関する事例研究発表会助言者，2010年3月。
  - 9) 佐々木明員：障がい者支援の今日的な課題，平成22年度北海道知的障がい福祉協会日胆地方会定期総会並びに研修会，2010年4月。
  - 10) 佐々木明員：触法障害者のセフティネットを刑務所から福祉支援へ，北海道知的障がい福祉協会日胆地方会研修会，2010年10月。
  - 11) 佐々木明員：障害福祉と発達障害支援，日本自閉症スペクトラム学会資格認定講座北海道会場，2010年7月。
  - 12) 佐々木明員：障害者雇用と就労支援，札幌学院大学市民講座，2010年10月。
  - 13) 佐々木明員：アスぺ基地みらい総会，家族会・当事者会に参加して感じたこと，2010年10月。
  - 14) 佐々木明員：障害者自立支援法の廃止と総合福祉法への制定の課題，平成22年度札幌協働福祉会中堅職員研修会，2010年10月。
  - 15) 佐々木明員：発達障害者の支援について，平成22年度札幌協働福祉会中堅職員研修会，2010年11月。
  - 16) 佐々木明員：北海道精神保健福祉士協会・一般社団法人えぞネット・北海道医療大学看護福祉学部臨床福祉学科向谷地良生・佐々木明員，デンマークと日本における障害者福祉と触法障害者支援セミナー，デンマークと日本における障害者福祉と触法障害者支援，2010年11月。
  - 17) 佐々木明員：障害者の触法少年に関する現状と課題，北海道特別支援学校副校長会・教頭会，冬季研究協議会，2011年1月。
  - 18) 佐々木明員：北海道社会福祉士会障がい者地域生活支援セミナー・シンポジウム触法障害者の支援，コーディネイター，2010年11月。
  - 19) 佐々木明員：北海道乳幼児療育研究会平成22年度北海道乳幼児療育研究会第24回研究大会，シンポジウム家庭養育を支える地域連携の新たな実践，企画責任者，2010年11月。
  - 20) 佐々木明員：日本弁護士会，シンポジウム触法障がい者の司法福祉的アプローチ，パネルディスカッション触法障がい者の置かれた現状，諸外国の取り組みから学ぶべきもの，現時点で可能な取り組み及び今後の方向性を探る，パネラー，デンマークにおける知的障害者の保護処分，2010年12月。
  - 21) 佐々木明員：北海道医療大学生涯学習事業，触法障害者の支援のあり方を考えるーデンマーク知的障害

者保護観察施設をモデルにー2011年1月。

- 22) 佐々木明員：北海道雨竜高等養護学校，平成23年度特別支援教育地域研修会，障害の触法少年に関する現状と課題，2011年7月。
- 23) 向谷地生良：第18回日本ホスピス・在宅ケア研究会全国大会 in 鳥取，2010年7月。
- 24) 向谷地生良：第21回東北作業療法学会 in 秋田，2010年9月。
- 25) 近藤里美：音楽である私たち：音楽療法から学ぶ，愛知ホスピス研究会公開講座，愛知県総合女性センター，2011年4月23日。
- 26) 中川賀嗣：失行症について，高次脳機能障害支援事業，秋田 2010. 10. 4。
- 27) 中川賀嗣：新しい失行の考え方，神経心理懇話会，福岡 2010. 10. 24。
- 28) 中川賀嗣：行為・動作実現の包括的機序，北海道言語聴覚士会道南言語聴覚士会 臨床神経心理学研修会，函館 2010. 12. 4。
- 29) 中川賀嗣：行為・動作実現のダイナミズムー「考えるヒント」ー，東北神経心理懇話会特別講演，仙台 2011. 1. 29。
- 30) 中川賀嗣：NHKフォーラム認知症新時代，2011. 3. 10。
- 31) 中川賀嗣：失行，高次脳機能障害学会講習会，京都，2011. 7. 18。
- 32) 中川賀嗣：脳のしくみと認知症症状，北海道医療大学大学院看護福祉学研究科文部科学省学術フロンティア推進事業，認知症高齢者のトータルケアに関する学際的研究（代表阿保順子）公開シンポジウム，札幌，2011. 7. 30。

#### (6) 社会活動

- 1) 志水 幸：大学教育学会，学会誌編集委員会委員。
- 2) 志水 幸：日本社会福祉教育学会，理事。
- 3) 志水 幸：北海道医療大学看護福祉学部学会誌，査読担当，2010年12月。
- 4) 志水 幸：大学教育学会誌，査読担当，2011年3月。
- 5) 今野多美子：小規模自治体病院等看護職員派遣検討会委員，北海道。
- 6) 今野多美子：第16回日本看護管理学会年次大会渉外委員会委員。
- 7) 今野多美子：精神障がい者・高齢者臨床倫理検討会幹事。
- 8) 佐々木明員：北海道乳幼児療育研究会理事・研修部長。
- 9) 佐々木明員：日本知的障害者福祉協会知的障害者福

祉専門員養成通信教育講師。

- 10) 佐々木明員：平成21年ー平成23年度厚労科学研究触法及び被疑者となった高齢者・障害者の支援に関する研究，研究協力者。
- 11) 佐々木明員：北海道ブロック社会福祉援助技術実習研究協議会実習前評価検討委員会委員。
- 12) 佐々木明員：特定非営活動法人当別町青少年活動センターゆうゆう24理事。
- 13) 向谷地生良：SST普及協会北海道支部長。
- 14) 向谷地生良：北海道アクションメソッドSST普及協会北海道支部長。
- 15) 向谷地生良：当事者研究家族ネットワークの開催（毎月第三火曜日）。
- 16) 向谷地生良：当事者研究・研究会の主催（毎月第四火曜日）。
- 17) 向谷地生良：当事者研究ミーティングの開催（毎週月曜日浦河べてるの家・精神科デイケア）。
- 18) 白石 淳：北海道福祉のまちづくり賞審査委員。
- 19) 白石 淳：北海道福祉環境アドバイザー。
- 20) 白石 淳：北海道福祉教育アドバイザー。
- 21) 大友芳恵：札幌市障害者推進協議会 委員。
- 22) 大友芳恵：北海道福祉サービス運営適正化委員会苦情解決委員会 委員。
- 23) 大友芳恵：日本福祉教育学校連盟 評議員。

## 看護学科

### 生命基礎科学講座

教授：小林 正伸，佐々木重幸，西 基

#### (1) 著 書

- 1) 西 基. 柔道整復用語事典 第3版. 東京，海馬書房，2011.
- 2) 西 基. コ・メディカル用語事典. 東京，海馬書房，2011.
- 3) 西 基. 保健師国試スキルアップ・ブックNEO. 東京，海馬書房，2011.

#### (2) 論 文

- 1) Tsuchiya K, Hida K, Hida Y, Muraki C, Ohga N, Akino T, Kondo T, Miseki T, Nakagawa K, Shindoh M, Harabayashi T, Shinohara N, Nonomura K, Kobayashi M. Adrenomedullin antagonist suppresses tumor formation in renal cell carcinoma through inhibitory effects

- on tumor endothelial cells and endothelial progenitor mobilization. *Int J Oncol*. 2010 36 : 1379–86.
- 2) Kobayashi T, Ishida J, Musashi M, Ota S, Yoshida T, Shimizu Y, Chuma M, Kawakami H, Asaka M, Tanaka J, Imamura M, Kobayashi M, Itoh H, Edamatsu H, Sutherland LC, Brachmann RK. P53 transactivation is involved in the antiproliferative activity of the putative tumor suppressor RBM5. *Int J Cancer* 128 : 304–318, 2011.
  - 3) Junichiro Takahashi, Yutaka Wakamatsu, Kouji Ishii, Tsuyoshi Kanaoka, Toshihiro Gohda, Shigeyuki Sasaki, Yoshiro Matsui : Preoperative HDL-C predicts later cardiovascular events after abdominal aortic aneurysm surgery, *Ann Vasc Dis* 4 ; 115–120, 2011.
  - 4) Yoshiro Matsui, Suguru Kubota, Hiroshi Sugiki, Satoshi Wakasa, Tomonori Ooka, Tuyoshi Tachibana, Shigeyuki Sasaki : Measured tube technique for ensuring the correct length of slippery artificial chordae in mitral valvuloplasty, *Ann Thorac Surg* 92 : 1132–1134, 2011.
  - 5) Masanobu Taniguchi, Akihito Watanabe, Hitoshi Tsujie, Takayo Tomiyama, Masahiro Fujita, Masao Hosokawa, Shigeyuki Sasaki : Predictors of cervical lymph node involvement in patients with pharyngeal carcinoma undergoing endoscopic mucosal resection, *Auris Nasus Larynx* 38 ; 710–717, 2011.
  - 6) Suguru Kubota, Satoru Wakasa, Tomonori Ooka, Tsuyoshi Tachibana, Shigeyuki Sasaki, Yoshiro Matsui : Successful excision of a saphenous vein graft aneurysm with different methods, *Gen Thorac Cardiovasc Surg* 59 : 426–428, 2011.
  - 7) Suguru Kubota, Hiroshi Sugiki, Satoru Wakasa, Tomonori Ooka, Tsuyoshi Tachibana, Shigeyuki Sasaki, Yoshiro Matsui : Can we change the operative criteria for the MAZE procedure combined with valve surgery in the era of radiofrequency devices? *Gen Thorac Cardiovasc Surg* 59 : 406–412, 2011.
  - 8) 西 基, 三宅浩次, 巖岩由美子, 菅原裕美, 荻野弘子. 北海道鹿追町における歯科保健施策と医療費増加抑制. *厚生指標* 57 : 40–43, 2010.
  - 9) 西 基. 小中学生の平日と休日におけるカルシウム・野菜類・乳類の摂取—札幌市における調査より—. *小児保健研究* 70 : 3–7, 2011.
  - 10) 花井潤師, 太田 優, 高橋広夫, 三觜 雄, 矢野公一, 福士 勝, 西 基, 長 祐子, 飯塚 進. 神経芽腫スクリーニングの正しい評価と今後—札幌市における18か月児の神経芽腫マスキューニング—. *日がん検診・診断誌* 18 : 228–232, 2011.
  - 11) 西 基. 出火100件当たりの死者数と救急病院数との関連性. *近代消防* 49 : 91–93, 2011.
  - 12) Satgé D, Rickert C, Nishi M. Association of germ cell tumors and growth hormone treatment : a necessary classification *J Pediatr* 159 : 169–170, 2011.
  - 13) 西 基. 札幌市における乳幼児健診の費用分析. *北海道医報* 4 : 26–27, 2011.
- (3) その他論文
- 1) 太田 優, 田上泰子, 佐々木美穂, 高野恵理香, 花井潤師, 高橋広夫, 三觜 雄, 福士 勝, 金田 眞, 長 祐子, 西 基, 飯塚 進. 札幌市における神経芽細胞腫スクリーニング結果 (2009年度). *札幌市衛生研究所年報* 37 : 101–102, 2010.
- (4) 学会発表
- 1) 西 基, 花井潤師, 三觜 雄, Satgé D. 日本とフランスにおける「副腎の悪性新生物」死亡の推移. 第26回日本小児がん学会 大阪市 2010年12月18日
- (5) 講演
- 1) 小林正伸 : 道民カレッジ北海道医療大学連携講座「がんをいかに予防するか?」2010年10月28日 サテライトキャンパス
  - 2) 小林正伸 : 道民カレッジ北海道医療大学連携講座「生活習慣病の予防～がんを中心に～」2011年5月28日 紀伊国屋書店インナーガーデン
  - 3) 西 基. 「医療経済学」JICA新生児マス・スクリーニングコース 2010年12月3日 札幌市衛生研究所
  - 4) 西 基. 「札幌市における自殺の疫学」札幌市豊平区自殺対策講演会 2011年1月26日 札幌市豊平保健センター

## 実践基礎看護学講座

教授 : 花岡眞佐子, 平 典子  
 講師 : 伊藤祐紀子, 福良 薫, 明野 伸次  
 助教 : 石山 景子

### (2) 論文

- 1) 伊藤祐紀子 : 患者との相互作用に見出される看護師の身体のあり様～【身体感覚からの察知】と【持ち前の判断と手立ての駆使】に焦点をあてて～, 北海



- 道医療大学看護福祉学部学会誌, 7 (1), 25-35, 2011, 3.
- 2) 伊藤祐紀子: 患者への気がかりをもとに看護していくプロセスの探究, 日本看護科学会誌31巻3号, 50-60, 2011, 9.
  - 3) 福良 薫, 野田千恵子, 三上三保子, 吉成 愛, 佐藤朋子, 山下八重子, 神 憲子, 三浦洋子, 土屋和枝, 岩井哲也, 一条晋吾, 伊藤 玲: チームによる摂食機能療法における訓練評価の課題～改善の見られないケースに焦点を当てて～, Brain Nursing 27巻 (10), 923-930, 2011, 9.
  - 4) 明野伸次: リネンチェンジにおける学生の行為の特徴ー身体性・順序性の観点からー, 北海道医療大学看護福祉学部学会誌, 7 (1), 71-78, 2011, 3.
- (3) その他の論文
- 1) 福良 薫, 明野伸次: 疾患と看護がわかる看護過程ナーシングプロセス (脳梗塞患者の看護編), クリニカルスタディ, 32 (10), 40-53, 2011, 9.
  - 2) 明野伸次: 基礎看護技術における修得レベルの評価指標作成に関する研究, 平成22年度日本私立看護系大学協会年報, 日本私立看護系大学協会, 84-85, 2011, 7.
  - 3) 石山景子: 最新! 感染看護Q&A, 看護技術 臨時増刊号, 56 (12), 60-67, 2010. 10
- (4) 学会発表
- 1) 花岡眞佐子: 初学者のための授業プラン「看護実践の特徴を知る」の検討 (1) ー映像による帰納的な認識形成に焦点をあててー, 北海道医療大学看護福祉学部学会 第8回学術大会, 札幌市, 2011, 9.
  - 2) 尾形裕子, 花岡眞佐子: 状況の把握に焦点をあてた臨床判断のパターン ー経験3年以上の看護師における臨床判断の特徴ー, 北海道医療大学看護福祉学部学会 第8回学術大会, 札幌市, 2011, 9.
  - 3) 唐津ふさ, 平 典子, 鳴井ひろみ, 田中いずみ, 三津橋梨絵: 外来治療を受けながら療養生活を送るがん患者の家族支援に対する看護師の認識, 日本看護研究学会第21回北海道地方会学術集会, 旭川, 2011, 6.
  - 4) Norkiko Hira: Investigation into the “Nursing presence intervention model”, Supportive Care in Cancer, 742, 2011, International MASCC/IS OO Symposium, Athens, 2011, June.
  - 5) 福良 薫, 林 裕子, 日高紀久江, 松井英俊, 原川静子, 紙屋克子: 脳幹梗塞による意識障害患者の寝たきり予防 発症直後から計画的な看護プログラムの実践: 第37回日本脳神経看護研究学会, 福岡市, 2010, 10.
  - 6) 林 裕子, 丸川陽子, 日高紀久江, 福良 薫, 紙屋克子: 脳卒中後遺症で自立機能評価が低い患者への生活再獲得を目指した看護, 第37回日本看護研究学会, 横浜市, 2011, 8.
- (5) 講演
- 1) 花岡眞佐子: 「北海道医療大学看護福祉学部の教育方針・臨地実習に期待すること」北海道大学病院看護部臨地実習指導者研修, 札幌市, 2011, 4.
  - 2) 平 典子: 「事例を研究的視点でまとめるとは」, 北海道大学病院看護部3年目研修, 札幌市, 2011, 7.
  - 3) 伊藤祐紀子: 「看護研究公開ゼミナール～研究計画書作成」, 釧路労災病院, 釧路市, 2010. 11.
  - 4) 福良 薫: 「口腔ケアと口腔内吸引の指導方法」, 北海道看護協会, 札幌市, 2011, 7.
  - 5) 福良 薫: 「長期意識障害・寝たきり (廃用症候群) 患者の生活行動回復の技術開発と成果」, 日本看護研究学会 特別交流集会 I, 横浜市, 2011, 8.
  - 6) 明野伸次: 「今さら聞けない! 排尿・排便の基礎の基礎」, NPO法人日本コンチネンス協会北海道支部講演, 札幌市, 2011, 5.
  - 7) 明野伸次: 「基礎看護技術における修得レベルの評価指標作成に関する研究」, 日本私立系看護大学協会若手研究者研究助成研究成果報告会, 東京都, 2011, 9.
- (6) 社会活動
- 1) 花岡眞佐子: 日本看護学教育学会 評議員.
  - 2) 花岡眞佐子: 日本看護学教育学会 専任査読委員.
  - 3) 花岡眞佐子: 日本看護学教育学会 研究助成選考委員.
  - 4) 花岡眞佐子: NPO法人日本コンチネンス協会 副会長.
  - 5) 花岡眞佐子: NPO法人日本コンチネンス協会 第1回上級セミナー企画・運営.
  - 6) 平 典子: 日本看護研究学会 北海道地方会役員
  - 7) 平 典子: 日本看護研究学会 北海道地方会長.
  - 8) 平 典子: 日本看護研究学会 評議員.
  - 9) 平 典子: 日本看護研究学会 査読員.
  - 10) 平 典子: 日本看護科学学会 評議員.
  - 11) 平 典子: 日本がん看護学会 評議員.
  - 12) 平 典子: 日本がん看護学会 査読員.
  - 13) 平 典子: 大学評価委員

- 14) 平 典子：科学研究費委員会専門委員
- 15) 伊藤祐紀子：平成22年度北海道看護教員養成講習会，研究方法演習 講師，2011. 6～8.
- 16) 伊藤祐紀子：平成23年度北海道看護協会 学会委員会 委員.
- 17) 伊藤祐紀子：北海道M-GTA研究会事務局代表.
- 18) 伊藤祐紀子：釧路労災病院研究指導，釧路市，2010. 11～.
- 19) 福良 薫：日本ヒューマン・ナーシング研究学会常任理事.
- 20) 福良 薫：日本脳神経看護研究学会 評議員.
- 21) 福良 薫：日本脳神経看護研究学会北海道部会 書記.
- 22) 福良 薫：秀友会病院看護研究指導，札幌市，2011. 3～11.
- 23) 福良 薫：札幌第一病院看護研究指導，札幌市，2011. 3～11.
- 24) 明野伸次：一般社団法人日本看護研究学会 北海道地方会役員.
- 25) 明野伸次：NPO法人日本コンチネンス協会 北海道支部副支部長.
- 26) 明野伸次：北海道医療大学看護福祉学部学会 理事.
- 27) 明野伸次：北海道医療大学看護学科同窓会 副会長.

## 地域保健看護学講座

### （老年看護学）

教授：山田 律子  
准教授：萩野 悦子  
講師：内ヶ島伸也  
助教：難波 香織

### （地域看護学）

准教授：工藤 禎子，桑原 ゆみ，竹生 礼子  
助教：明野 聖子，川添恵理子，萬 美奈子

### （精神看護学）

准教授：佐久間えりか  
講師：笹木 弘美  
助教：鈴木 祐子，中村

### （老年看護学）

#### (1) 著 書

- 1) 山田律子：高齢者の生活機能再獲得のためのケアプ

ロトコルー連携と協働のために（担当 第4章 口から食べることを目指すケア：経管栄養から経口へ（p76－87.100－105），日本看護協会出版会，2010，（，10）.

- 2) 山田律子（著）：見藤隆子，小玉香津子，菱沼典子（編）看護学辞典（研究方法に関する用語担当），日本看護協会出版会，2011（，7）.
- 3) 内ヶ島伸也：認知症の人のサポートブック，第4章 第4節場面別認知症の人とのかかわり方，p70－107，中央法規出版，2011（，9）.

#### (2) 論 文

- 1) 内ヶ島伸也，蒲原 龍：認知症高齢者の日常生活ケアにかかわる意思決定能力の特徴とその関連要因の検討，北海道医療大学看護福祉学部学会，7（1），p13－23，2011（，3）.

#### (3) その他の論文

- 1) 山田律子：食べ方が乱れる人の食事ケア（連載6回），50－53，おはよう21，21（11），2010（，10）.
- 2) 山田律子：認知症の原因疾患をふまえた食事ケア①－アルツハイマー病の人の場合（連載7回），50－53，おはよう21，21（13），2010（，11）.
- 3) 山田律子：認知症の原因疾患をふまえた食事②－前頭側頭型認知症とレビー小体型認知症の人の場合（連載8回），50－53，おはよう21，21（14），2010（，12）.
- 4) 山田律子：認知症の原因疾患をふまえた食事ケア③－血管性認知症の人の場合（連載9回），50－53，おはよう21，22（1），2011（，1）.
- 5) 山田律子：認知症の人の摂食力を高める「食事環境づくり」①－見当識・記憶を助け，機能的能力を高める環境（連載10回），52－55，おはよう21，22（2），2011（，2）.
- 6) 山田律子：認知症の人の摂食力を高める「食事環境づくり」②－食事に専心でき，社会的交流を高める環境（連載11回），52－55，おはよう21，22（3），2011（，3）.
- 7) 山田律子：認知症の人が再び口から食べるために－経管栄養から経口摂取に向けて（連載12回），50－53，おはよう21，22（4），2011（，4）.
- 8) 山田律子：認知症の人の経管栄養の注意点，34－39，認知症ケア最前線，28，2011（，8）.

#### (4) 学会発表

- 1) 平野浩彦，枝広あや子，小原由紀，大堀嘉子，渡邊裕，新谷浩和，高田 靖，佐々木健，細野 純，山



- 田律子，鈴木隆雄：食行動を認知症の進行から考える－どんな行動がいつ起こるのか，第11回日本認知症ケア学会大会（石崎賞：学会賞受賞），神戸，2010（，4）。
- 2）千葉由美，市村久美子，山田律子，山本則子：一般病院における摂食・嚥下障害患者への体制と胃ろう導入に関する基礎調査，日本老年看護学会第15回学術集会，前橋，2010（，11）。
- 3）山田律子，内ヶ島伸也，千葉由美，鈴木真理子，平野浩彦，枝広あや子：認知症高齢者の摂食・嚥下障害の特徴とケアの方向性－認知症の原因疾患と重症度を踏まえた分析，日本老年看護学会第16回学術集会（日本老年学会合同ポスターセッションに選定），東京，2011（，6）。
- 4）枝広あや子，平野浩彦，山田律子，千葉由美，他：アルツハイマー型認知症患者の自立摂食を支援するために－食行動実態調査の結果から，一般社団法人日本老年歯科医学会第22回学術大会（日本老年学会合同ポスターセッション優秀ポスター受賞），東京，2011（，6）。
- 5）新谷浩和，平野浩彦，鈴木 央，山田律子，他：在宅認知症高齢者の食事支援での多職種連携構築 Multidisciplinary Approach for In-home Elderly with Dementia through Mealtime Support，一般社団法人日本老年歯科医学会第22回学術大会，東京，2011（，6）。
- 6）新谷浩和，平野浩彦，鈴木 央，山田律子，他：認知症高齢者の地域ケア－食事ケアの歯科支援システムの提案（大田区での取り組みの概要報告，一般社団法人日本老年歯科医学会第22回学術大会，東京，2011（，6）。
- 7）佐藤絵美子，平野浩彦，渡邊 裕，新屋俊明，戸原玄，千葉由美，山田律子，他：認知症高齢者臭覚機能低下と食事との関連－アルツハイマー型認知症を中心に，一般社団法人日本老年歯科医学会第22回学術大会，東京，2011（，6）。
- 8）萩野悦子，鈴木真理子，中川賀嗣，西 基：睡眠障害をもつ認知症高齢者に高照度光を用いたケアの効果，第11回日本認知症ケア学会大会，神戸，2010（，10）。
- 9）萩野悦子，寺下いずみ，三浦加奈子，七尾雅子，川筋奈緒美，福士友紀，中澤朋子：腎・泌尿器疾患の予定手術を受ける高齢者の手術前後の活動量と睡眠パターンの変化，日本老年看護学会第16回学術集会，東京，2011（，6）。
- 10）萩野悦子，寺下いずみ，三浦加奈子，七尾雅子，川筋奈緒美，福士友紀，中澤朋子：腎・泌尿器疾患の予定手術を受ける高齢者のせん妄発症パターンと発症要因－日本語版ニーチャム混乱・錯乱スケールの特典変化に注目して，日本老年看護学会第16回学術集会，東京，2011（，6）。
- 11）寺下いずみ，萩野悦子：腎・泌尿器疾患の予定手術を受ける高齢者のせん妄発症要因，北海道医療大学看護福祉学部第8回学術大会，札幌，2011（，9）。
- 12）内ヶ島伸也，石崎森子，横山晃子，蒲原 龍：認知症高齢者の日常生活ケアに関わる意思決定能力の特徴－認知機能との関連，日本老年看護学会第16回学術集会，東京，2011（，6）。
- 13）内ヶ島伸也，石崎森子，蒲原 龍，横山晃子：認知症高齢者の日常生活ケアに関わる意思決定能力の特徴－認知症の原因疾患による比較，日本認知症ケア学会第12回大会，横浜，2011（，9）。
- (5) 講 演
- 1）山田律子：第13回病院歯科介護研究会基調講演「認知症の原因疾患別にみた摂食・嚥下障害と食事ケア」，岡山，2010（，10）。
- 2）山田律子：東日本学園後援会 関東支部主催講演会「認知症高齢者の食べるよろこびを支えるために～北海道医療大学だからこそ可能なチームアプローチ」，東京，2010（，11）。
- 3）山田律子：アルツハイマーデイ記念講演会「認知症の人の食べる喜びを支えるために」，当別町，2010（，11）。
- 4）山田律子：岩手県介護老人保健施設協会主催 教育講演「認知症の人のおいしく豊かな食事に向けて」，岩手，2010（，11）。
- 5）山田律子：医師歯科医療連携フォーラム 認知症の人の食事と医療連携「認知症の人の食べるよろこびを地域で支えるために」，旭川，2010（，11）。
- 6）山田律子：日本看護科学学会「摂食嚥下障害看護のためのケアプロトコルの臨床・研究・教育場面での活用法」，東京，2010（，12）。
- 7）山田律子：大田区大森歯科医師会主催 認知症フェスタ「認知症高齢者の食事ケアを知らう－認知症高齢者の食事ケア」，東京，2010（，12）。
- 8）山田律子：介護予防従事者研修会「高齢者の口腔機能向上と栄養改善」，札幌，2010（，12）。
- 9）山田律子：社団法人日本看護協会「これからの特別養護老人ホームにおける看護リーダー養成研修「認知症のケア」」，東京，2011（，1）。
- 10）山田律子：第23回老人福祉施設職員研究会記念講演「認知症の人の美味しく豊かな食事に向けて」，大阪，2011（，2）。

- 11) 山田律子：北海道医療大学セミナー「摂食・嚥下障害のある認知症高齢者の食事ケア」，札幌，2011（， 3）。
  - 12) 山田律子：学際医療栄養セミナー「認知症の人の美味しく豊かな食事提供に向けて」，東京，大阪，2011（， 6）
  - 13) 山田律子：北海道栄養士会（生涯学習研修会）教育講演「認知症の人にとってのおいしい豊かな食事に向けて」，札幌，2011（， 7）。
  - 14) 山田律子：新潟県老人福祉施設協議会（栄養・調理職員研究部会）。教育講演「認知症の人の美味しく豊かな食事に向けて」，新潟，2011（， 6）。
  - 15) 山田律子：北海道看護協会主催「看護研究のまとめ方とプレゼンテーション」，札幌，2011（， 8）。
  - 16) 山田律子：第1回認知症ケアフォーラム 基調講演「認知症高齢者の補水管理・摂食支援」，千歳，2011（， 8）。
  - 17) 山田律子：第2回日本認知症グループホーム大会教育講演「認知症の人の食べる喜びに向けて～脳機能を踏まえた食事ケア」，東京，2011（， 9）。
  - 18) 山田律子：骨ケアフェスタ市民公開講座「骨粗鬆症と転倒・骨折の予防に向けて～転ばぬ先の杖」，岩見沢，2011（， 9）。
  - 19) 山田律子：医療法人社団豊生会研修会「認知症の人への豊かな環境づくりを目指して～ひとりの人として向き合うケア」，札幌，2011（， 9）。
- (6) 社会活動
- 1) 山田律子：日本看護研究学会 理事・査読委員
  - 2) 山田律子：日本看護科学学会 評議員
  - 3) 山田律子：日本老年看護学会 評議員・査読委員・教育研究推進委員
  - 4) 山田律子：日本摂食・嚥下リハビリテーション学会 評議員・査読委員
  - 5) 山田律子：日本認知症ケア学会 評議員・編集委員
  - 6) 山田律子：日本咀嚼学会 評議員
  - 7) 山田律子：保健師助産師看護師試験委員
  - 8) 山田律子：科学研究費委員会第1段階審査委員
  - 9) 山田律子：専門看護師教育課程認定委員会（老人看護専門分科会）委員
  - 10) 山田律子：認定看護師認定実行委員会（認知症看護分野）委員長
  - 11) 山田律子：認知症看護認定看護師教育カリキュラム検討委員会 委員長
  - 12) 山田律子：日本看護協会看護研修学校 認知症看護認定看護師講師，東京，2010（， 7， 8）。
  - 13) 山田律子：医療法人札幌円山病院 院内認定教育プログラム「認知症高齢者の生活環境」「認知症高齢者のアセスメントー食事」講師，2011（， 7， 8）。
  - 14) 萩野悦子：日本認知症ケア学会 評議員・査読委員・認知症ケア上級専門士 認定員
  - 15) 萩野悦子：日本老年看護学会 査読委員
  - 16) 萩野悦子：医療法人札幌円山病院 院内認定教育プログラム「認知症高齢者のアセスメントとケア」講師，2011（， 7， 8）。
  - 17) 内ヶ島伸也：NPO法人認知症フレンドシップクラブ 理事
  - 18) 内ヶ島伸也：札幌市月寒公民館創造学園「認知症を知ろう・考えよう」講師，札幌，2010（， 10）。
  - 19) 内ヶ島伸也：平成22年度第3回認知症介護指導者養成研修「地域連携の理解（シンポジウム）」講師，認知症介護研究・研修仙台センター主催，仙台，2010（， 12）。
  - 20) 内ヶ島伸也：医療法人溪仁会札幌西円山病院看護部研修「認知症高齢者のアセスメントとケア」講師，札幌，2010（， 12）。
  - 21) 内ヶ島伸也：平成23年度滝川市立病院看護部「看護研究研修」講師，滝川，2011（， 8～9）。
- (地域看護学)
- (1) 著 書
- 1) 工藤禎子：新出題形式対応保健師国家試験問題模擬試験，解答と解説（「高齢者保健」部分），2012年版保健師国家試験問題解答と解説，医学書院，521－562，2011。
  - 2) 工藤禎子家族における健康管理，野尻雅美編「最新保健学」，真興交易（株）医書出版部，177－191，2011。
  - 3) 工藤禎子：中島先生の活動を施策モデルを基に振り返る，中島紀恵子・北川公子編，「老年看護の縦横な語り」，クオリティケア，179－200，2011。
- (2) 論文
- 1) 桑原ゆみ：健診受診者における運動の行動変容ステージと生活習慣，健診結果およびQOLとの関連，日本地域看護学会誌，13（1），52－58，2010。
  - 2) 明野聖子・澤田あずさ・工藤禎子・竹生礼子・佐藤美由紀：1歳6ヶ月児の父親の育児サポートに関する母親の認知に関連する要因，日本地域看護学会誌，13（1），83－90，2010。
  - 3) 竹生礼子・工藤禎子・若山好美・桑原ゆみ・明野聖子・佐藤美由紀・川添恵理子：認知症についての啓発と地域づくりをめざす認知症キャラバンメイトの登録者の活動と意識，－北海道における市町村の人口模別の分析－日本地域看護学会誌，13（2），23

－30, 2011.

- 4) 川添恵理子：わが国における1999～2009年の退院計画に関する文献の概要，日本在宅ケア学会誌，14（2），18－25，2011.
- 5) 萬美奈子・木浪智佳子・三国久美：未就学児の肥満を予防するための保健教育に関する保護者のニーズ，北海道医療大学看護福祉学部学会誌，7（1），37－44，2011.
- (3) その他の論文
  - 1) 木浪智佳子・三国久美・萬美奈子：小児がんの子どもをもつ母親の心理的状况に関する文献検討，北海道医療大学看護福祉学部紀要，17，53－60，2010.
- (4) 学会発表
  - 1) 工藤禎子・竹生礼子・川添恵理子・明野聖子：認知症キャラバンメイト未活動専門職の認識，一活動組織がある地域のキャラバンメイトが感じていること（第3報）－日本看護科学学会第30回学術集会，札幌市，2010年12月.
  - 2) 竹生礼子・工藤禎子・若山好美・佐藤美由紀・明野聖子・桑原ゆみ：非専門職の認知症キャラバンメイトが活動の推進のために必要だと考えていること，一認知症キャラバンメイト調査の自由記載の分析（第4報）－日本老年看護学会 第16回学術集会，東京，2011年6月
  - 3) Yoshiko Kudo, Reiko Takeu, Eriko Kawazoe, Yoshimi Wakayama, Yumi Kuwabara, Seiko Akeno, Miyuki Sato, Satomi Kondo : Community Development For People With Dementia Through Caravan-Mate-Volunteer Project , The 2nd Japan-Korea Joint Conference on Community Health Nursing, Kobe, 2011年7月.
  - 4) Yumi Kuwabara : The perception of health checkups and health condition among health checkup participants, International conference in Community Health Nursing Research Biennial Symposium, Edmonton, Alberta, Canada, 2011年5月.
  - 5) Yuri Goto, Yumi Kuwabara : Teachers' perception and needs regarding health education in elementary school : Findings from interviews of focus groups in Sapporo, Japan, International conference in Community Health Nursing Research Biennial Symposium, Edmonton, Alberta, Canada, 2011年5月.
  - 6) Yumi Kuwabara : The relationship between the perception of health checkups, health behaviors, and health condition among health checkup participants, The 2nd Japan-Korea Joint Conference on Community Health

Nursing, Kobe, Japan, 2011年7月.

#### (5) 講演

- 1) 桑原ゆみ：紋別保健所栄養関係・管轄別研修会「特定健診・特定保健指導事業の企画・実施・評価」講師，2010年10月25日，北海道紋別保健所.
- 2) 桑原ゆみ：当別町ケアマネジャー連絡協議会「本人の思いを引き出し，行動変容を促す面接技術」講師，2011年1月12日，当別町.
- 3) 川添恵理子：平成22年度家庭看護基盤整備事業，北見地域交流会，「施設と地域の連携と継続看護」講師，2010年11月14日，北見市.
- 4) 川添恵理子：平成23年度滝川市立病院看護部「事例研究学習会」講師，2011年7月5日，滝川市.
- 5) 川添恵理子：地域ケアサービス連携推進事業，第1回看護連携検討会議「生活の場へつなげる退院支援」講師，2011年7月，紋別保健所.

#### (6) 社会活動

- 1) 工藤禎子・竹生礼子・若山好美・川添恵理子：認知症キャラバンメイトの活動と意向，及びその関連要因，文部科学省学術研究高度化推進事業学術フロンティア推進事業，「認知症高齢者のトータルケアに関する学際的研究，複雑系に属する認知症高齢者への直接的ケアの開発（研究代表者 阿保順子）」研究メンバー，北海道医療大学大学院看護福祉学研究科
- 2) 工藤禎子：日本老年看護学会，評議員，査読委員
- 3) 工藤禎子：日本地域看護学会，編集委員
- 4) 工藤禎子：日本看護科学学会，査読委員
- 5) 工藤禎子：日本在宅ケア学会，査読委員
- 6) 工藤禎子：日本老年社会学会，査読委員
- 7) 桑原ゆみ：平成23年度滝川市立病院看護部「看護研究研修」講師，2011年8－9月，滝川市
- 8) 桑原ゆみ：当別町国民健康保険運営協議会会長，当別町
- 9) 桑原ゆみ：札幌市国保特定保健指導等推進委員会委員，2011年4月～現在，札幌市
- 10) 桑原ゆみ：日本糖尿病教育・看護学会専任査読者
- 11) 桑原ゆみ：第15回日本糖尿病教育・看護学会学術集会査読委員
- 12) 竹生礼子：当別町地域包括支援センター運営協議会委員長，2009年4月～現在，当別町
- 13) 竹生礼子：第5期当別町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会副委員長，2011年7月～2012年3月，当別町
- 14) 竹生礼子：当別町地域ケア会議介護予防専門部会メ



ンバー

- 15) 竹生礼子：当別町ケアマネジャー連絡協議会メンバー
  - 16) 竹生礼子：札幌ホスピス・緩和ケアネットワーク、幹事
  - 17) 竹生礼子：北海道緩和ケアに携わるナースのサポートネットワーク世話人
  - 18) 竹生礼子：笹川記念保健協力財団 在宅ホスピスケア緩和ケア研究助成事業「これからの人生に役立つ健康教室」緩和ケア・認知症に関する啓発ための講話，2011年8月1日：新篠津村第1老人クラブ，2011年8月6日：札幌市白石区白石東地区センター，2011年8月12日，新篠津村中央老人クラブ，2011年9月7日：当別町総合保健福祉センター。
  - 19) 竹生礼子：札幌市西区老老介護を学ぶ会「きずな」健康講話，「認知症の人との接し方」2011年1月11日，「ハンドケア」2011年5月14日，「お楽しみツボ押し」2011年6月11日。
  - 20) 竹生礼子：当別町ケアマネジャー連絡協議会，「ケアマネジャーと医療との連携・ターミナルケアについて」事例検討会 パネルディスカッションコーディネーター，2011年7月13日，当別町。
  - 21) 川添恵理子：手稲溪仁会病院，看護部研修会「病棟からはじめる退院調整」講師，2011年3月7日，手稲溪仁会病院。
  - 22) 川添恵理子：手稲溪仁会病院，看護部「退院支援コンサルテーション」，2011年3月～現在，手稲溪仁会病院。
- (精神看護学)
- (2) 著 書
  - 1) 佐久間えりか：佐藤千史，井上智子（編），人体の構造と機能からみた病態生理ビジュアルマップ4 P180 医学書院，2011
  - (4) 学会発表
  - 1) 藤井智子，杉村さちよ，沖野公子，北村久美子，佐久間えりか：発展途上国看護職のカントリーレポートから看護学生が学んだこと，第12回地域看護学会，千葉，2009. 8
  - 2) 佐藤美由紀，芳賀 博，齊藤恭平，若山好美，堀籠はるえ，岡本麗子，鈴木祐子：郊外型地域における住民のグループワークによる高齢者の役割見直し（第1報） 第23回日本保健福祉学会，東京，2010，10
  - 3) 堀籠はるえ，佐藤美由紀，芳賀 博，齊藤恭平，若山好美，岡本麗子，鈴木祐子：郊外型地域における住民のグループワークによる高齢者の役割見直し（第2報） 第23回日本保健福祉学会，東京，2010，10
  - 4) 佐藤美由紀，芳賀 博，齊藤恭平，若山好美，堀籠はるえ，岡本麗子，鈴木祐子：小地域における高齢者の役割見直しと創造を目指したプログラムの展開過程（第1報） 第52回日本老年社会科学学会，東京，2011，6
  - (5) 講 演
  - 1) 佐久間えりか：千歳市民病院 看護部主催講演「看護研究の進め方」講師，2010
  - 2) 佐久間えりか：千歳市民病院看護部主催講演「看護研究のまとめ方」講師，2010
  - (6) 社会活動
  - 1) 佐久間えりか：日本精神保健看護学会 評議委員，査読委員
  - 2) 佐久間えりか：日本精神保健看護学会 「学術連携委員会」委員，「高度プロトコール委員会」委員
  - 3) 佐久間えりか：平成21年度北海道介護予防市町村支援委員会 専門部会 委員
  - 4) 佐久間えりか：第18回日本精神障害者リハビリテーション学会運営委員
  - 5) 佐久間えりか：日本地域看護学会第13回学術大会実行委員
  - 6) 佐久間えりか：精神保健従事者団体懇談会監事
  - 7) 佐久間えりか：北海道医療大学看護福祉学会理事
  - 8) 佐久間えりか：NPO法人こころ理事長
  - 9) 佐久間えりか：独立行政法人国立病院機構 北海道看護研究学会 研究指導
  - 10) 佐久間えりか，笹木弘美：市立札幌静療院看護部研究指導，2010。
  - 11) 佐久間えりか，笹木弘美：千歳市民病院看護部看護部研究指導，2010。
  - 12) 笹木弘美：北海道看護教員養成講習会 研究方法演習 講師，2010. 6～8
  - 13) 笹木弘美：看護研究学会 論文指導，2010
  - 14) 笹木弘美：日本保健福祉学会，査読，2010

## 母子看護学講座

教 授：三国 久美  
准教授：伊藤 道子  
講 師：遠藤紀美恵，木浪智佳子



助 教：澤田 優美，井関ゆかり

## (2) 論 文

- 1) 萬美奈子，木浪智佳子，三国久美：未就学児の肥満を予防するための保健教育に関する保護者のニーズ，北海道医療大学看護福祉学部学会誌，7，1，37-44，2011，3.

## (3) その他の論文

- 1) 木浪智佳子，三国久美，萬美奈子：小児がんの子どもをもつ母親の心理的状況に関する研究，北海道医療大学看護福祉学部紀要，17，53-58，2010，12.
- 2) 川崎ゆかり，岩城依子：集合研修・個別指導を生かして自ら情報発信する一私が取り組んだ小児看護研究一，小児看護，34，4，476-481，2011，4.

## (4) 学会発表

- 1) 森脇智子，川崎裕美，秀島千晴，三国久美，廣瀬たい子，木浪智佳子，澤田優美，辻 美穂，寺本妙子：つどいの広場に参加する母親に対するJNCAST利用の試み，第4回乳幼児保健学会，2010，10.
- 2) 秀島千晴，川崎裕美，森脇智子，三国久美，廣瀬たい子，木浪智佳子，澤田優美，辻 美穂，寺本妙子：「つどいの広場」に参加する母親の育児不安とネットワークに関する検討，第4回乳幼児保健学会，2010，10.
- 3) Chikako Kinami, Kumi Mikuni, Yukari Kawasaki, Yumi Sawada, Sakae Saito, Taiko Hirose, Miho Kusanagi: Factors associated with Work Life Balance of working mothers of infants, International Conferences in Community Health Care Nursing Research (ICCHNR) Symposium 2011, May 2011, Edmonton, Alberta Canada.
- 4) 木浪智佳子，川崎ゆかり，三国久美：小児病棟の患児に付添う母乳育児中の母親への看護，日本小児看護学会第21回学術集会，2011，7.
- 5) 大見広規，伊藤道子：青年期のBMIと血圧への胎児期と乳幼児期早期の成長パターンの関与 -DO-HaDの視点から，第47回日本周産期・新生児医学会学術集会，2011，7月．札幌市．
- 6) 澤田優美，齊藤早香枝，木浪智佳子，川崎ゆかり，三国久美，草薙美穂：働く母親の育児困難感の関連要因，第41回北海道母性衛生学会学術講演会，2011，9.
- 7) 齊藤早香枝，木浪智佳子，澤田優美，川崎ゆかり，三国久美，草薙美穂：働く母親の首尾一貫感覚（SOC）と育児との関連，第41回北海道母性衛生学

会学術講演会，2011，9.

- 8) 齋藤いずみ，伊藤道子，遠藤紀美恵，西 基：分娩第1期から4期における医療行為と看護行為の安全性に関する総合的分析，第52回日本母性衛生学会学術集会，2011年，9月，京都.

## (6) 社会活動

- 1) 三国久美：乳幼児保健学会，理事
- 2) 三国久美，遠藤紀美恵：平成22・23年度江別市立病院「看護研究実践コース研修」講師
- 3) 三国久美：平成22・23年度北海道社会保険病院「看護係長研修」講師
- 4) 三国久美，澤田優美，木浪智佳子：乳幼児保健学会第4回学術集会企画委員，2010，10.
- 5) 伊藤道子：北海道母性衛生学会幹事総務
- 6) 伊藤道子：第41回北海道母性衛生学会学術講演会会長
- 7) 伊藤道子：第26回日本助産学会学術集会企画委員
- 8) 遠藤紀美恵：模擬講義 北海道立稚内高等学校 講師，2011年，7月.
- 9) 遠藤紀美恵：北海道看護教育研究会 会長

## 成人看護学講座

教 授：野川 道子

准教授：佐々木栄子，館山 光子

講 師：唐津 ふさ，西村 歌織

助 教：雉子谷知子，二本柳玲子，高木 由希

## (1) 著 書

- 1) 佐々木栄子：パーキンソン病の基礎知識，看護過程，看護学生のための疾患別看護過程Vol. 1，メヂカルフレンド社，260-279，2011，6.

## (3) その他論文

- 1) 後藤清恵，中島 孝，佐々木栄子：SEQoL-JAの適応と課題，平成22年度厚生労働科学研究費補助金難治性疾患研究事業「特定疾患における生活の質の向上に関する研究」分担研究報告書，114-123，2011，3.
- 2) 佐々木栄子，雉子谷知子，本吉美也子，森若文雄，有馬祐子，敦賀 肇，工藤絵梨果：パーキンソン病患者支援プログラム構築の試み，厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服事業「特定疾患患者の自立支援体制の確立に関する研究」平成22年度研究報告書，143-147，2011，3.

- 3) 二本柳玲子：血液透析を受ける女性の体験の関連性－関連性評定質的分析（KH法）を用いて－，腎臓，33（2），130－136，2010.
- (4) 学会発表
  - 1) 高井奈津子，野川道子：心筋梗塞後患者が認知する病気の不確かさの特徴，第4回日本慢性看護学会，岐阜羽島，2011（，6）.
  - 2) 伊藤千春，野川道子：糖尿病患者が認知する病気の不確かさの特徴，第4回日本慢性看護学会学術集会，岐阜羽島，2011（，6）.
  - 3) 伊藤千春，野川道子：2型糖尿病患者の病気の不確かさに関連する要因の検討，北海道医療大学看護福祉学部学会 第8回学術大会，札幌，2011（，9）
  - 4) 高井奈津子，野川道子：心筋梗塞後でPCI治療を受けた患者の不確かさの認知，特徴，北海道医療大学看護福祉学部学会 第8回学術大会，札幌，2011（，9）.
  - 5) 唐津ふさ，平 典子，鳴井ひろみ，田中いずみ，三津橋梨絵：外来治療を受けながら療養生活を送るがん患者の家族支援に対する看護師の認識，日本看護研究学会第21回北海道地方会学術集会，24，2011（，5）
  - 6) 川村三希子，小島悦子，西村歌織，山田富美子，草島悦子，田村里子，白石典子，石岡明子，松本克弘：市民ホスピス団体と専門家の協働による「がん患者に対する地域開放型サポートグループ“ちえのわ”」の検討，第16回日本緩和医療学会学術大会，2011（，7）.
  - 7) 小島悦子，山田富美子，松本克弘，田村里子，白石典子，川村三希子，西村歌織，石岡明子，小田島綾子：がん患者と家族への情報提供支援事業「治療期にあるがん患者と家族に対するホスピス・緩和ケア病棟見学会」の評価，第16回日本緩和医療学会学術大会，2011（，7）.
  - 8) 後藤清恵，中島 孝，佐々木栄子：SEQoL-JAの適応と課題，平成22年度厚生労働科学研究費補助金難治性疾患研究事業「特定疾患における生活の質の向上に関する研究」班研究報告会，2010，12.
  - 9) 佐々木栄子，雉子谷知子，本吉美也子，森若文雄，有馬祐子，敦賀 肇，工藤絵梨果，南 尚哉：パーキンソン病患者支援プログラム構築の試み，厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服事業「特定疾患患者の自立支援体制の確立に関する研究」平成22年度研究班会議，2011，1.
  - 10) 杉田久子，唐津ふさ，西村歌織：卒業前看護学生の看護実践の「知」の語り－個人インタビューを通して－，日本看護教育学会大21回学術集会，146，2011（，8）
  - 11) 高木由希：血液透析患者のQOLの実態－実存的側面に着目して－，日本腎不全看護学会第13回学術集会，2010（，11）
  - 12) 高木由希，野川道子：血液透析患者の病気の不確かさに関連する要因，日本看護科学学会第30回学術集会，2010（，12）
  - 13) 高木由希，野川道子：血液透析患者の不確かさと透析治療に関する熟知度の関連，日本慢性看護学会第5回学術集会，2011（，6）
- (5) 講 演
  - 1) 野川道子：病気の不確かさ，佐賀大学大学院医学系研究科修士課程看護学専攻，公開授業，2011（，5）
  - 2) 野川道子：チーム医療と看護専門職の育成 佐賀大学医学部医学系研究科，特別講演会 2011（，5）.
  - 3) 佐々木栄子：北海道難病連全道集会パーキンソン病友の会医療講演会「パーキンソン病患者のこころとからだの硬さをほぐす方法」，2011，8.
  - 4) 佐々木栄子：北祐会神経内科病院研修会，「パーキンソン病患者の理解～壮年期にある人の理解と支援～」，2011，9.
- (6) 社会的活動
  - 1) 野川道子：日本慢性看護学会 理事
  - 2) 野川道子：日本難病看護学会 理事 査読委員
  - 3) 野川道子：日本私立看護系大学協会 理事
  - 4) 野川道子：日本看護科学学会 代議員 和文誌編集委員
  - 5) 野川道子：日本看護研究学会 評議員
  - 6) 野川道子：日本看護協会 専門看護師制度委員（副委員長）
  - 7) 野川道子：日本看護系大学協議会 専門看護師教育課程認定委員会委員（慢性看護）
  - 8) 野川道子：日本看護協会 専門看護師認定委員会委員（慢性疾患看護）
  - 9) 野川道子：北海道福祉審議会委員
  - 10) 野川道子：札幌医科大学地域医療支援対策委員
  - 11) 佐々木栄子：医療法人社団明生会手稲ロイヤル病院「看護研究」指導
  - 12) 館山光子：日本救急看護学会 機関誌専任査読委員
  - 13) 館山光子：手稲溪仁会病院 看護研究指導
  - 14) 館山光子：札幌ひばりが丘病院 看護師研修 講師
  - 15) 唐津ふさ：平成23年度手稲溪仁会病院 看護師研修「看護研究」講師

- 16) 唐津ふさ：平成23年度 北海道中央病院せき損センター 看護部研修「看護研究」講師
- 17) 唐津ふさ：北海道主催 平成23年度看護教員養成講習「看護理論」講師
- 18) 唐津ふさ：北海道主催 平成23年度保健師助産師看護師等実習指導者講習会「看護教育課程（成人看護学）」講師
- 19) 西村歌織：北海道医療大学 恵佑会札幌病院寄付講座「がんを持つ人の生活支援プロジェクト」講座員。
- 20) 西村歌織：平成23年度北海道看護研究学会 研究指導。
- 21) 西村歌織：がん予防・啓発チャリティイベント「リレー・フォー・ライフ 2011 in いしかり」(公益財団法人 日本対がん協会，実行委員会共催)，実行委員・事務局担当。
- 22) 西村歌織：NPO法人 市民と共に創るホスピスケアの会 がん患者・家族のための情報提供支援「ちえのわ」企画・運営。
- 23) 高木由希：北海道看護協会主催 平成22年度看護師研修「肝炎患者の看護研修会－基礎知識と患者のセルフマネジメントを支援する関わり」講師 2010，11

## 臨床看護学講座

教授：川村三希子，塚本 容子  
 講師：高橋 久江，長谷 佳子  
 助 教：北村美奈子，本吉美也子

### (1) 著 書

- 1) 川村三希子：消化器症状のマネジメント．梅田 恵，射場典子編集：緩和ケア．大切な生活・尊厳ある 生をつなぐ技と心，Pp91－103，南江堂，2011.
- 2) 川村三希子：関連する特定の病態の治療と非薬物療法．食事指導．日本緩和医療学会，緩和医療ガイドライン作成委員会編集：がん患者の消化器症状の緩和に関するガイドライン，2011年度版，Pp67－69．金原出版株式会社，2011.
- 3) 川村三希子編集：エンドオブライフケアにおける緩和ケア，がん看護，16（3），2011.
- 4) 塚本容子：人体の構造と機能から見た病態生理ビジュアルマップ4，多剤耐性菌感染症－57－59，伝染性単核症，75－77，医学書院，2010.
- 5) 塚本容子：人体の構造と機能から見た病態生理ビ

ジュアルマップ5，带状疱疹－67－69，疥癬・白癬，73－75，医学書院．

### (2) 論 文

- 1) 小島悦子，川村三希子：積極的治療が望めなくなった時期を想定した場合のがん体験者の家族の情報ニーズの検討．がん看護
- 2) 川村三希子，西村歌織，小島悦子，田村里子他：がん患者・家族のニーズに沿った情報提供支援のためのパイロットスタディ．平成22年度ホスピス緩和ケアにおけるQOLの向上に関する研究助成報告書．平成22年度笹川記念保健協力財団．

### (3) その他の論文

- 1) 川村三希子：アドバンスケアプランニング～最期まで自分らしく過ごすために話し合っておくこと．がん看護，394－397．16（3），2011.
- 2) 小島悦子，川村三希子：臨死期のケア．がん看護，388－393．16（3），2011.
- 3) 塚本容子：感染管理者の説明力として何が求められているか，感染対策ICTジャーナル，6（2），164－168，2011.
- 4) 塚本容子：感染症看護のケアとポイント：B型／C型肝炎，化学療法の領域，27（2），174－181，2011.
- 5) 塚本容子：医療関連感染予防におけるケアバンドルの今，そして今後の課題，HosCom，8（2），01－09，2011.
- 6) 長谷佳子：組織風土／ジレンマ解消／カンファレンス病棟の倫理的感性を磨く～部署単位でできる倫理との付き合い方 看護倫理をテーマとした事例検討の進め方，ナースマネージャー，12（10），12－18，2010.

### (4) 学会発表

- 1) 川村三希子，小島悦子，西村歌織他：市民ホスピス団体と専門家との協働による「がん患者に対する地域開放型単発サポートグループ“ちえのわ”」の検討．第16回日本緩和医療学会，札幌，2011（，7）.
- 2) 小島悦子，山田富美子，田村里子，川村三希子，西村歌織他：がん患者と家族への情報提供支援事業「治療期にあるがん患者と家族に対するホスピス・緩和ケア病棟見学会」の評価．第16回日本緩和医療学会，札幌，2011（，7）.
- 3) 兼平奈美，川村三希子：国内における認知症のあるがん患者の看護研究の動向と課題，北海道医療大学看護福祉学部学会．第8回学術大会，2011（，9）



- 4) 木村公美, 川村三希子: 認知症もしくは認知機能低下をもつがん患者の緩和ケア病棟における入院基準の概観. 北海道医療大学看護福祉学部学会第8回学術大会, 2011 (, 9).
  - 5) 塩谷光彦, 塚本容子: *Acinetobacter baumannii* によるアウトブレイク事例の系統的文献分析, 第26回環境感染学会, 横浜, 2011 (, 2).
  - 6) 塚本容子, 山田佳緒里, 北山由香里, 石角鈴華, 塩谷光彦: 北海道の一般病院における感染対策実施状況, 第26回環境感染学会, 横浜, 2011 (2).
  - 7) 長谷山雅美, 塚本容子: 手指衛生アドヒアランス向上のための介入プログラムの検討, 第26回環境感染学会, 横浜, 2011 (2).
  - 8) 塚本容子: ナースプラクティショナーにおける今後の展望, 第11回NP国際会議, 大分, 2011 (, 2).
  - 9) Yoko Tsukamoto & Masami Haseyama: APIC Annual Conference 2011, Baltimore, USA
  - 10) 塚本容子他: 看護師の業務拡大に伴うアウトム評価に関する調査のすすめ方, 第30回日本看護科学学会交流集会, 札幌, 2010 (, 12).
  - 11) 田畑温子, 高橋友美, 今ひとみ, 加藤 綾, 三上由希子, 荒田三枝子, 三上智哉, 荒谷 隆, 長谷佳子: 慢性呼吸器疾患患者におけるLINQを活用した患者教育と行動変容の検討, 第20回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会, 長崎, 2010 (, 10)
  - 12) 高山 望, 長谷佳子, 鈴木智津子, 齋藤美子, 東めぐみ: わが国における近年の「不確かさ」の概念分析, 第5回日本慢性看護学会学術集会, 岐阜, 2011 (, 6).
  - 13) 鈴木智津子, 長谷佳子, 高山 望, 齋藤美子: 「新たな治療を受ける外来患者の不確かさへの支援」ーインターフェロン療法を受ける患者の事例を通してー, 第5回日本慢性看護学会学術集会, 岐阜, 2011 (, 6).
- (5) 講演
- 1) 川村三希子: 「がん患者の心理過程をふまえた退院調整と地域連携の在り方」平成22年度名寄保健所家庭看護基盤整備事業「がん患者の入退院連絡調整検討会」土別, 2011 (, 3).
  - 2) 川村三希子: 「乳がん患者の緩和ケアはいつから開始すべきか」北海道乳がん看護研究会. 札幌, 2011 (, 6).
  - 3) 川村三希子: 「緩和ケアにおける看護の魅力と看護師の役割ー教育の立場で大切にしていること」第16回日本緩和医療学会. 看護師フォーラムパネリスト札幌, 2011 (, 7).
- (6) 社会活動
- 1) 中条ちおり, 北村美奈子: 冠動脈疾患患者の服薬に対するとらえ方の現状調査. 第49回日本社会保険医学会総会, 福岡, 201 (, 12).
  - 2) 塚本容子: 最新エビデンス, 血流感染予防のための輸液療法の基本, 第1回感染管理ネットワーク北海道支部研修会, 2010 (, 10).
  - 3) 塚本容子: 我が国のナースプラクティショナーの展望, 第5回北海道成育看護研究会, 2010 (, 10).
  - 4) 塚本容子: ナースプラクティショナーの展望と課題, 日本看護研究学会北海道地方会, 2010 (, 10).
  - 5) 塚本容子: 中心静脈カテーテル関連感染予防の最新ガイドライン, 北海道医療センター院内感染研修会, 2010 (, 11).
  - 6) 塚本容子: 訪問看護で使える! いざという時のフィジカルアセスメントー意識障害, 北海道訪問看護ステーション連絡協議会, 2011 (, 1).
  - 7) 塚本容子: 司会, ガイドライン策定における質的評価法とその評価を踏まえた活用法, 第26回環境感染学会, 横浜, 2011 (, 2).
  - 8) 塚本容子: 日能研, フィジカルアセスメント, 2011 (, 3).
  - 9) 塚本容子: 一から考える多剤耐性菌感染予防対策旭川感染管理セミナー, 2011 (, 4).
  - 10) 塚本容子: 米国におけるプライマリケアとナースプラクティショナー 医療の質と効率について, 教育講演, 第2回プライマリ・ケア連合学会, 札幌, 2011 (, 7).
  - 11) 塚本容子: 訪問看護で使える! いざという時のフィジカルアセスメントー呼吸器・循環器のアセスメント, 北海道訪問看護ステーション連絡協議会, 2011 (, 9).
  - 12) 塚本容子: 患者安全と医療関連感染, 横浜薬剤師会, 2011 (, 9).
  - 13) 塚本容子: 医療関連感染と環境及びTop10文献, APIC報告会, 2011 (, 9).
  - 14) 塚本容子: 手指衛生についてのエビデンス, KKR札幌医療センター斗南病院 院内研修会, 2011 (, 9).
- (6) 社会活動
- 1) 川村三希子: 「どうなっているの? 北海道の緩和ケア」日本ホスピス緩和ケア協会第9回年次大会シンポジウム座長.
  - 2) 川村三希子: 「放射線治療を受けるがん患者の看護ケア」教育講演座長, 第16回日本緩和医療学会, 札幌.



- 3) 川村三希子：「がんの痛みを和らげよう～全人的視点からのアプローチ～」座長，第16回日本緩和医療学会，札幌。
- 4) 川村三希子：平成23年度北海道がん対策推進委員
- 5) 川村三希子：平成23年度北海道がん対策推進委員．緩和ケア・在宅医療ワーキンググループ委員。
- 6) 川村三希子：日本緩和医療学会代議委員・広報委員。
- 7) 川村三希子：日本がん看護学会評議委員・査読委員。
- 8) 川村三希子：日本緩和医療学会．がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン改訂準備委員。
- 9) 川村三希子：日本緩和医療学会．消化器症状ガイドライン作成委員。
- 10) 川村三希子：日本ホスピス緩和ケア協会（HPCJ）看護師教育カリキュラム改訂版レビュー。
- 11) 川村三希子：認定看護師教育基準カリキュラム検討ワーキンググループ委員。
- 12) 川村三希子：ELNEC-Jガイド改訂委員・指導者。
- 13) 川村三希子：日本ホスピス緩和ケア協会北海道支部役員。
- 14) 川村三希子：ホスピスケア研究会札幌分会世話人。
- 15) 川村三希子：日本死の臨床研究会北海道支部 常任幹事。
- 16) 川村三希子：札幌ホスピス緩和ケアネットワーク幹事。
- 17) 川村三希子：kanwa-n-net世話人代表。
- 18) 川村三希子：がんプロフェッショナル養成プランがん看護インテンシブコース責任者。
- 19) 川村三希子：NPO市民と共に創るホスピスケアの会．がん患者・家族のための情報提供支援「ちえのわ」運営・企画。
- 20) 川村三希子：東北地方太平洋沖地震災害支援派遣（宮城県気仙沼市）2011．3．27～4．2
- 21) 塚本容子：International Council of Nursing, HIV-AIDS Network Advisory.
- 22) Yoko Tsukamoto : UNAIDS, Asia Pacific Region Consultant.
- 23) Yoko Tsukamoto : The Nurse Practitioner Journal, International Editorial Advisory Board.
- 24) 塚本容子：戦略的大学連携支援事業連絡調整会議構成員およびワーキンググループメンバー。
- 25) 塚本容子：日本NP協議会メンバー。
- 26) 高橋久江：東北地方太平洋沖地震災害支援派遣（宮城県気仙沼市）2011．4．2～4．9．
- 27) 長谷佳子：福井大学大学院医学系研究科付属看護キャリアアップセンター認定看護師教育課程 慢性

呼吸器疾患看護 非常勤講師。

- 28) 長谷佳子：日本慢性看護学会「慢性疾患患者の看護支援のための相談窓口」コンサルタント。
- 29) 長谷佳子：日本慢性看護学会 特別委員会ワーキンググループ，2010（，6）～。
- 30) 長谷佳子：慢性疾患看護専門看護師研究会 副会長。
- 31) 長谷佳子：北海道医療大学病院 看護部学習会 講師。
- 32) 長谷佳子：呼吸療法認定士連絡会 事務局。
- 33) 北村美奈子：東北地方太平洋沖地震災害支援派遣（宮城県気仙沼市）2011．4．2～4．9．
- 34) 北村美奈子：俱知安厚生病院看護部 平成23年度看護研究指導。
- 35) 本吉美也子：がんプロフェッショナル養成プランコメディカル・インテンシブコース担当者。

## 大学院担当

教 授：石垣 靖子

### (1) 著 書

- 1) 石垣靖子：ガイドラインを読み解く，新人看護職員研修の手引き，日本看護協会出版会，共著 36-40 2011．9

### (3) その他の論文

- 1) 石垣靖子：座談会：看護管理者のネットワークが支える地域医療再生，看護管理，2010 october, Vol.20 no.11 964-974
- 2) 石垣靖子：ナースよヒポクラテスを超えなさい，第6回ジェネラリスト温故知新，日本プライマリー・ケア学会誌，2011．Vol.34. no. 3 260-264
- 3) 石垣靖子：最期まで自分らしく生きるために，私と親鸞聖人，大乘 20-25 2010．10月号，
- 4) 石垣靖子：ケアリングと愛，いのちの輝き，やすらぎ通信，2011年春号，ユーキャン出版部

### (4) 学会発表

- 1) 戸田悦子・石垣靖子：基礎教育と卒後教育との連携による新人看護師に対する与薬技術教育の検討，第15回日本看護管理学会講演，京王プラザホテル・東京，2011．8．27

### (5) 講 演

- 1) 石垣靖子：寄り添う看護ーやさしさに包まれてー，

- 岐阜県看護協会研修会, 2010. 10. 1
- 2) 石垣靖子：施設における継続教育，施設内教育を企画するためのスキルアップ研修会，北海道看護協会，2010. 10. 6
  - 3) 石垣靖子：新人看護職員研修の実際と展望，厚生連病院看護部長研修会，全国厚生農業協同組合連合会，2010. 10. 8
  - 4) 石垣靖子：管理者の倫理的意思決定Ⅱ－認定看護管理者制度サードレベル教育課トップマネージャーの意思決定と倫理－ 日本看護協会看護研修学校 2010. 10. 20
  - 5) 石垣靖子：生きる事と食べる事－ホスピスケアの実践を通して－ 北海道栄養士会 福祉栄養士協議会 秋期職域別専門研修会 2010. 10. 22
  - 6) 石垣靖子：「がんと共に輝いて生きるためのスピリチュアルケア」がん看護Ⅳ研修会富山県総合情報センター 2010. 10. 29
  - 7) 石垣靖子：最新の医学における『生命・いのち』の問題－ケアの現場から－北海道武蔵女子短期大学 平成22年度共通教養科目生命と倫理 2010. 10. 30
  - 8) 石垣靖子：対談 これからの緩和ケア～人と人が支えあうこと～ホスピスケア市民講座200回記念特別講座山崎卓郎，石垣靖子 2010. 11. 6～7
  - 9) 石垣靖子：ケアすることと，はぐくむこと－死にゆく人の傍らにいて－ 教育講演第34回日本死の臨床研究会年次大会「地域で看取る」盛岡 2011. 11. 7
  - 10) 石垣靖子：終末期の生を支える，第7回東区内科臨床談話会，「終末期医療を考える」札幌アスペンホテル，2010. 11. 8
  - 11) 石垣靖子：“傍らに在る”ということ－医療・福祉の基盤としての緩和ケア－財団法人 木村看護教育振興財団 平成22年度「看護に関する講演会」宮崎 2010. 11. 12
  - 12) 石垣靖子：傍らに在るということ－ホスピスケアの実践をとらえて－萬葉山妙覚寺「仏教講演会－ホスピスケアの臨床家二人－ 2010. 11. 13
  - 13) 石垣靖子：いま改めて，看護管理を考える大崎地区看護管理者研修会 2010. 11. 16
  - 14) 石垣靖子看護倫理 よりよい看護実践の基盤 青森県むつ総合病院看護部研修会 2010. 11. 22～23
  - 15) 石垣靖子：リーダーシップ研修 KKR札幌医療センター看護部研修 2010. 12. 2
  - 16) 石垣靖子：看護倫理の必要性 社団法人 北海道看護協会主催 一緒に考えよう！看護倫理研修会 2010. 12. 6
  - 17) 石垣靖子：人間として尊重する医療・福祉の原点としての緩和ケア 北海道医療大学「看護福祉学入門」2010. 12. 15
  - 18) 石垣靖子：特別講演「その人らしいQOLを支援するためのケア」，第32回京滋緩和ケア研究会プログラム 2010. 12. 18
  - 19) 石垣靖子：新人看護職員研修ガイドラインの基本的考え方，石川県看護協会，平成22年度新人看護職員研修責任者研修会，2011. 1. 17
  - 20) 石垣靖子：管理者の倫理的意思決定，平成22年度認定看護管理者サードレベル教育課程，公立大学法人札幌市立大学，2011. 1. 19
  - 21) 石垣靖子：がん医療における緩和ケアの重要性 平成22年度がんプロフェッショナル養成プラン事業 市民公開講座がんを知る講演会 2011. 1. 22
  - 22) 石垣靖子：看護専門職論 看護倫理 北海道看護協会認定看護管理者教育制度ファーストレベル教育課程 2011. 1. 31／ 2011. 2. 23
  - 23) 石垣靖子：こころをつなぐ 看護をつなぐ，第1回高知医療センター看護実践発表会，2011. 2. 11
  - 24) 石垣靖子：ケアリングの組織文化を創る担い手として－ホスピスナースの役割，第10回日本財団ホスピスナース記念研修会，日本財団（東京），2011. 3. 4
  - 25) 石垣靖子：特別講演 「その人らしいQOLを支援するためのケア」 第16回七栗緩和ケアセミナー 2011. 3. 26
  - 26) 石垣靖子：ホスピスケア－愛，尊厳そして希望－，第202回ホスピス市民講座（札幌），2011. 4. 24
  - 27) 石垣靖子：看護を志す後輩に伝えたいこと，八戸短期大学 宣誓式講演，2011. 5. 14
  - 28) 石垣靖子：臨床倫理の原点－チームで協働して創る患者中心の組織文化－，泉大津市立病院倫理研修，2011. 5. 22
  - 29) 石垣靖子：いま改めて緩和ケアを考える－人間としての尊厳と希望を維持するために－，社会保険横浜中央病院，緩和ケア学術講演会，2011. 6. 10
  - 30) 石垣靖子：ボランティアの心，社会医療法人博愛会ボランティア養成講座公開講座，鹿児島，2011. 6. 11
  - 31) 石垣靖子：語りつごう看護のこころ：「愛・尊厳そして希望を支えるケア」，第5回鹿児島県がん看護研究会年次大会，鹿児島市立病院学術講堂 2011. 6. 12
  - 32) 石垣靖子：がん終末期における倫理的諸問題，ナースのためのホスピス・緩和ケア研修，平成23年度日本看護協会 看護教育研究センター 神戸，2011. 6. 27

- 33) 石垣靖子：公開講座「看護サービスの質管理」，山形県看護協会 平成23年度認定看護管理者ファーストレベル教育課程，2011. 6. 29
- 34) 石垣靖子：看護実践の倫理，岐阜県県民ふれあい会館，岐阜県看護協会，2011. 7. 8
- 35) 石垣靖子：新人看護職員研修の意義と課題を考える，新人看護職員研修にどう取り組むか，全国看護セミナー，日本看護協会出版会，沖縄県南風原町 2011. 7. 9
- 36) 石垣靖子：ボランティアとの協働ー病院ボランティアの在り方を考えるー，鹿児島相良病院研修，2011. 7. 11
- 37) 石垣靖子：鹿児島県立大島病院看護部研修会，2011. 7. 12
- 38) 石垣靖子：看護専門職論・看護倫理，青森県看護協会認定看護管理者ファーストレベル教育課程，2011. 7. 16
- 39) 石垣靖子：看護倫理，むつ総合病院看護局倫理研修，2011. 7. 17
- 40) 石垣靖子：ホスピス・緩和ケアの歴史と現状，ナースのためのホスピス・緩和ケア研修，日本看護協会神戸研修センター，2011. 7. 20
- 41) 石垣靖子：倫理の原点を学ぶー看護における生命倫理ー，全国看護セミナー，日本看護協会出版会，奈良県橿原市，2011. 7. 23
- 42) 石垣靖子：ホスピス・緩和ケア対象者のセルフケアの理解，静岡がんセンター認定看護師教育課程，2011. 7. 27
- 43) 石垣靖子：あたりまえの幸せ，北・北海道カウンセリング支援センター，旭川大雪クリスタルホール，2011. 8. 13
- 44) 石垣靖子：ケアの質と臨床倫理，大垣市民病院看護部研修会，2011. 9. 3～4
- 44) 石垣靖子：看護倫理に基づいたケアの実現に向けて，札幌医科大学付属病院看護部研修会，2011. 9. 7
- 45) 石垣靖子：傍らにいたいということー今改めて緩和ケアを館あげるー，藤田保健衛生大学，第10回緩和ケア勉強会，名古屋，2011. 9. 14
- 46) 石垣靖子：新人看護職員研修教育担当者・実地指導者研修，京都府看護協会福知山，2011. 9. 16
- 47) 石垣靖子：がん看護における看護倫理，放射線治療を受けるがん患者の看護ケア，全国看護セミナー，京都，日本看護協会出版会，2011. 9. 17
- 48) 石垣靖子：新人看護職員研修教育担当者・実地指導者研修，京都テルサ，2011. 9. 28
- 49) 一般演題座長・「看護管理」・第30回日本看護科学学

会学術集会，札幌コンベンションセンター，2010. 12. 3

- 50) 招待講演 座長「Palliative Care in the United States Trends in Ethics Public Policy & Practice」Colleen Scanlon，第16回日本緩和医療学会 札幌ロイトンホテル 2011. 7. 29
- 51) 特別講演 チーム医療と倫理，第5回看護実践学会学術集会，石川県立中央病院，2011. 9. 11
- 52) 基調講演 受け手と担い手との共同行為が成立するために，日本看護倫理学会第4回年次大会，岩手県立大学看護学部，2011. 8. 28
- 53) シンポジスト「ペーシエントからパースンへの挑戦」，シンポジウム患者中心の医療ー過去・現在・未来ー日本プライマリー・ケア連合学会，札幌ロイトンホテル，2011. 7. 2

#### (6) 社会活動

- 1) 石垣靖子：つながりのなかでいのちが輝く 進路講演会 岩見沢緑陵高等学校 2011. 3. 10
- 2) 東京大学 G-COE「死生学の展開と組織化」主催臨床倫理事例検討会 講師
- 3) 平成22年度北海道看護協会の基本理念策定に係る検討会委員（～2011. 3）
- 4) 平成22年度北海道総合保健医療協議会地域医療専門委員会 看護対策小委員会委員
- 5) ホスピス研究助成委員会委員，（23年6月まで）（財）笹川医学医療研修財団
- 6) 医学医療に関する研究助成委員会委員（平成23年6月まで）（財）笹川医学医療研究財団
- 7) 北海道小規模自治体病院等看護職員派遣検討会 委員長
- 8) 札幌市母子保健事業のあり方検討会委員
- 9) 旭川医科大学客員教授・旭川医科大学大学院医学系研究科 非常勤講師（24年3. 31まで）
- 10) 公立大学法人札幌市立大学非常勤講師 「パリアティブケア」担当2011. 5. 10/2011. 5. 24
- 11) 名寄市立大学非常勤講師（2011. 9. 30まで）
- 12) 日本在宅ケア学会評議員
- 13) 日本臨床死生学会理事
- 14) 日本看護管理学会監事

## 恵佑会札幌病院寄付講座

教授：川村三希子（臨床看護学講座 兼任）  
 准教授：竹生 礼子（地域保健看護学講座 兼任）  
 講師：西村 歌織（成人看護学講座 兼任）

助 教：木村 公美

(4) 学会発表

- 1) 木村公美，川村三希子：認知症もしくは認知機能低下をもつがん患者の緩和ケア病棟における入院基準の概観，北海道医療大学 看護福祉学部学会，2011年9月

(6) 社会的活動

- 1) 木村公美：社会医療法人 恵佑会札幌病院看護部研究指導，2010年～現在